

大村9万人全員で、
未来の大村市を創造しましょう
市民の興味・関心が高まる
市政プロモーションのあり方を

園田議員

(1)市政広報のあり方について

低迷している投票率をはじめ、市政広報やプロモーションが、不足している。平成18年度の行政評価資料に基づく改善が全く図られていない。市民の興味関心が高まる広告媒体を検討していくべきではないか。

今年度は市制65周年イベントが多く開催される予定であるが、イベント開催の目的・対象・広報戦略・結果報告が行われていない。目的意識を持って取り組むべきである。

(2)環境行政について

市民活動として、全国的に取り組まれる「TEAM GOGO」(豪快な号外)配布に際して、大村市も市民と一緒に取り組んでいくことが大切ではないか。

そういった姿勢が「市民との対話」に繋がっていくのではないかと。

市長

(1)大村市に興味・関心が高まるアプローチとして、広報・PRが非常に大切である。最大の広報手段である市政だよりをはじめ、ホームページ、ケーブルテレビなどで市の施策やイベ

ント情報など情報発信をしていきたい。また市政だよりについては行政委員のご協力によりほぼ全家庭に配布されているが、市民の反応についての正確な調査が不十分であり、今後アンケート等を行っていきたい。

商工観光部長

「天正少年夢まつり」の広報については、宣伝隊が、各テレビ局のイベント告知コーナーをはじめ、出演可能なものについては出演するように予定している。

環境部長

(2)大村市は平成13年から市の公共施設に対しての大村市地球温暖化対策実行計画を策定し、現在第2次計画を進めている。平成18年度末には大村市地球温暖化対策協議会を設置し、公共交通機関の利用促進、節水・節電、事業所における省エネルギーなど、市全体で温暖化防止の取り組みを推進していきたい。

環境問題は、市民一人一人あるいは環境団体の皆様と一緒に取り組んで行く必要があると認識しており、できるだけの協力はしていきたい。

(その他の質問事項)

- ・議員バッジについて
- ・大村市立病院について
- ・認定こども園について
- ・自殺対策と職員のメンタルヘルスについて



天正少年夢まつりオープニングイベント

「三浦野生の森」のような子どもの健全育成のための事業の芽を、たくさん育てよう

山口議員

(1)通学路の安全対策について

三浦小学校付近の児童等の登下校時の安全対策については、常々万全の対策を取っていただけるよう要望をしておりますが、6月の始めに、自動車の三重衝突が現実が発生し、はからずも重大な危険性が実証されたので、スクールゾーン(減速帯)の設置が早急に実施できるのかお尋ねします。

(2)「三浦野生の森」について

子どもたちの健全育成を図るため民間団体の方が取り組まれている「三浦野生の森」について、今年度から始まる文科省・厚労省の放課後子どもプランの認定を受ける事ができるのか、お尋ねします。また、その助成金の運用方法については、設備投資、備品購入等についても支援が受けられるよう事業者と連携しながら予算折衝にあたってもらえるのか、お尋ねします。

市長

(1)現場は、まさに三浦地区の幹線道路であり、通行車両も年々増加している。子どもの通学路でもあり、危険な場所というの十分認識している。スクールゾーンについては、地元の皆様方の意見も十分理解しており、非常に危険な場所なので、ガードパイプとともに19年度にやっていた大きく強く県に要望していきたい。

教育次長

(2)放課後子どもプランについては、放課後等における子どもの安全で健やかな居場所づくりを進めるために文部科学省の放課後子ども教室推進事業、厚生労働省の放課後児童育成事業の二つを一体的に連携して実施する総称であり、19年度から実施されている事業である。

「三浦野生の森」についても既に県からの内定通知はいただ